

## 「武蔵野ロケットクラブ」が、超音速ロケット実験

武蔵野ロケットクラブ内ペイロードプロジェクトが、来たる、9月17、18、19日（米国時間）に、アメリカネバダ州ブラックロック砂漠において、自作ロケットによる、超音速実験を行う。

この期間、ネバダ州ブラックロック砂漠では、XPRS（eXtream Performance Rocket Ship）という、超大型模型ロケットの大会が開かれており、（Aeropac 主催）この、大会に参加するという形で、超音速ロケット実験を行う。日本の大学も参加している CANSAT を打ち上げる ARLISS も Aeropac が行っており、XPRS は、ARLISS に引き続きという形で行われる。

武蔵野ロケットクラブとしての XPRS への参加は、2回目。

今回のロケットは、音速突破の記録を残すために、IMU（慣性計測装置）、気圧高度計、テレメトリシステム、

ハイビジョンカメラを搭載し、更に、上空からの安全な回収のため、2段パラシュート解放機構を、搭載している。ロケットの全長約3m、燃料を充填すると、重量約10Kg。又、機体の設計から、製作、IMU、テレメトリシステム、2段パラシュート放出機構、カメラマウントまで、手作り。

重いペイロード（搭載物）を、打



ち上げるために用意された、エンジンは推力約130kgの、固体燃料ロケット（M1315型）。約6秒間の燃焼で、機体をマッハ1.4まで加速し、約5000m上空へとロケットを打ち上げる。

将来的には、更に上空をねらう予定。

武蔵野ロケットクラブ

会長

石井 亮

mimnora@peach.odn.ne.jp

090-6707-3377